

9. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		通信会社（総務担当）	・新規契約キャンペーンの展開を予定しており、大幅な契約増を見込んでいる。
		商店街（理事）	・衆議院選挙が終わり景気は上向く。
		商店街（代表者）	・与党の躍進とそれに伴う株価の高騰を受け、景気は多少良くなる。
		百貨店（外商担当）	・株価の上昇など好材料や衆議院選挙の終了などにより、年末に向けて景気は良くなっていく。
		百貨店（人事担当）	・地場産業がやや上向きになっていることで、ボーナスの増加などが見込めそうである。
		スーパー（店長）	・10月は台風や雨天が多く客足が遠のいたため、天候次第では今月よりは上向く。
		コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて再び来客数が戻る。
		家電量販店（店長）	・来客数と客単価が上昇しており、現状が続く。
		家電量販店（販売担当）	・年末に向けて暖房需要に期待が持てる。
		家電量販店（企画担当）	・目玉となる新製品が出てくるので、売上は伸びる。
		乗用車販売店（業務担当）	・新商品の投入に加えて年末から増販期に入るので期待が持てる。
		乗用車販売店（店長）	・来客数が前年並みに戻っており、年末年始に向けて客の動きは良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の展示車や試乗車が来るので、それを目的とした客の来場も増える見込みである。
		自動車備品販売店（経営者）	・年末に向かつて現在の好調が維持できれば希望が持てる。
		その他専門店〔土産物〕（店長）	・11月はワタリガニなど単価の高い商品が動く時期であり、そのためのイベントや広告も用意している。その後イルミネーションも始まるため遅い時間の集客を強化する。
		一般レストラン（経営者）	・衆議院選挙も終わり、年末にかけて客の動向が良くなりそうである。特に建築関連は繁忙を極めているため、外食需要の増加が期待できる。
		観光型ホテル（営業担当）	・行楽シーズンや冬の味覚のシーズンで来客数の増加に期待が持てる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会、新年会シーズンになるので期待が持てる。
		都市型ホテル（総支配人）	・地元の大社の神在祭が今年は12月上旬まで食い込むため、観光客が増加する。
		都市型ホテル（企画担当）	・ホテル周辺に新たな商業施設ができるなど、人が集まりやすくなっているため、悲観的な見通しは今のところない。
		タクシー運転手	・イベントなどが開催される時期になり、外国人観光客も増えてくるので期待が持てる。
		タクシー運転手	・観光シーズン、忘年会シーズンに入っていくので人の流れが良くなる。
		通信会社（販売企画担当）	・新商品投入で来店誘因が整う。
		テーマパーク（業務担当）	・イルミネーションイベントの期間中でもあり、多くの来客数が見込める。
		テーマパーク（営業担当）	・過去最大の規模で冬季イルミネーションを行うため、入園者の増加が見込める。
		競艇場（職員）	・年末年始のレースで収益が見込める。
		設計事務所（経営者）	・年明けには足踏み状態から少し改善し、意思決定でも改善が見込まれるため、客の動きが上向く。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げが現実味を帯びてきたことから、少しずつ上昇傾向になる。	
	住宅販売会社（営業担当）	・12月までは客からの問い合わせが増えてくることが想定され、契約等の動きが活発になる。	
	商店街（代表者）	・病気など健康面からの理由で閉店した店舗が2店あり、店舗減少の影響が出てくる。	
	商店街（代表者）	・観光客が11月末までは増え、飲食関係はそこそこ良くなるが、限定的な要因であるため物販は苦戦が続く。	
	商店街（代表者）	・客の買い控えが続いており、制服では中古品の修理注文が増えてくる。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・今後も輸出頼りであるため、国内需要は低下していくと想定している。	
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・営業活動に必要な名刺の注文が少ないため、売行きが悪くなる。	

一般小売店〔紙類〕 (経営者)	・地元の買い回り客の流れは悪くないので、現状のまま推移する。
一般小売店〔食品〕 (経営者)	・地域経済が活性化しておらず、個人所得の伸びもなく停滞状況が続く。
一般小売店〔靴〕(経営者)	・当店の売上は伸びていくが、他店はそうでもない状況が続く。
百貨店(経理担当)	・大きな売上が期待できる催しなどの予定はなく、前年売上を維持できるかどうかの状況が続きそうである。
百貨店(広報担当)	・地元プロ野球チームのクライマックスシリーズ敗退により、前年実施されていたセール等の開催がなく、消費モチベーションが喚起されない。
百貨店(営業担当)	・企画などを打ち出しても、衣料品は厳しく前年の販売量をクリアするのがやっとの状況であるが、化粧品は前年をクリアする動きがある。
百貨店(営業担当)	・株高の影響もあり年内は堅調に推移するが、米国や北朝鮮問題もあり不透明感は否めない。
百貨店(販売促進担当)	・10月末に市内に大型スーパーが開店して食品分野での競争が激しくなるとともに、コートを中心とした冬物商戦は単品購買の傾向があるので大きな期待はできない。お歳暮と冬物商戦の2つの柱が厳しい状況であれば景気の回復はまだ遠い。
百貨店(売場担当)	・地元プロ野球チームの日本シリーズ進出がなくなり、応援セールの反応は商業施設全体でも今一つの動きとなる。競合する大型商業施設のオープンが一巡するため、近隣のなじみの店舗での購買は今後しばらく期待できる。
百貨店(売場担当)	・衆議院選挙や台風などは一過性のものであり、景気自体に変化はない。ただお歳暮商戦は良い材料がなく、厳しい状況は継続していく。
スーパー(店長)	・数字が良くなる要素も悪くなる要素もない。
スーパー(店長)	・ここ半年来客数が前年の95%前後で推移しており、現状ではすぐに改善しない。
スーパー(店長)	・客の購買行動に変化の兆しは見られず、売上向上の要因が見当たらない。
スーパー(店長)	・現状の客の来店状況や直近のトレンドからすると、良くも悪くも数値が劇的に変わることは考えにくい。
スーパー(総務担当)	・天候の影響に限らず来客数が伸び悩み、販売促進の効果もすぐには出そうにない。
スーパー(業務開発担当)	・節約志向定着と競争激化のなか、12月のクリスマス、年末繁忙期の穏やかな天候を願うだけである。
スーパー(財務担当)	・前年は野菜の高騰が12月まで続いていたため、今年も消費者の節約志向とあいまって既存店売上の前年割れが続く。
スーパー(管理担当)	・新規オープン、リニューアルオープン等環境の変化とともに、競争激化は否めず客の分散化が進み、売上の増加は期待薄である。
スーパー(販売担当)	・コートやセーターの動きが良く、11月に大きなイベントがあるので、来客数は順調に推移する。
コンビニ(エリア担当)	・来客数が減少しているが、工事客のお陰で売上は前年を何とかクリアしている。
コンビニ(支店長)	・来客数の状況から見ると変化はない。
コンビニ(副地域ブロック長)	・他社や24時間スーパーの出店、ドラッグストアの品ぞろえの多様化などがこれから進んでくるため、コンビニエンスストアを取り巻く環境が、激しくなる見込みである。
衣料品専門店(経営者)	・景気の良くなる要素が見えない。
衣料品専門店(店長)	・客の動き、客単価、販売量を見る限り、景気が上向く状況ではない。
家電量販店(店長)	・売れ筋商品はなく、客の財布のひもは緩まずに年末を迎える。
家電量販店(店長)	・主力商品の単価下落も著しく、好材料が何もない。
乗用車販売店(営業担当)	・仕事の忙しさが所得にはまだ反映されていないため、車の購入は後回しにしたり、車検も安い所で受ける客が増えるため、会社全体でも販売台数は減少していく。
乗用車販売店(営業担当)	・新型車の投入が少なく、販売量は現状のまま推移する。
その他専門店〔和菓子〕(経営者)	・売上が増減する要素がない。
その他専門店〔時計〕(経営者)	・客は老後の生活不安があるため、景気が上向くことはない。
その他小売〔ショッピングセンター〕(所長)	・来春のグランドオープンに向けて店内改装を進めているので、それまで有力ブランド店跡は催事で利用するしかない。

	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・年末に向けて景気が良くなる期待もあるが、光熱費が高騰してきている中、客の財布のひもは緩みそうもない。地元プロ野球チームが日本シリーズ進出を逃したこともあり、優勝セールもなくなる一方、台風など気候の影響も今後懸念されるところである。
	高級レストラン（宴会サービス担当）	・地元プロ野球チームの優勝関連のイベントを予定しているため、前年並みに推移する。
	一般レストラン（経営者）	・現状のままの景気が続いていく。
	一般レストラン（店長）	・天候などの影響がなければ大きく下がる要因はない。年末年始での宴会予約も順調に入ってきているので、前年並みの売上を期待できそうである。
	スナック（経営者）	・毎年年末年始は忘年会や新年会があり、他の月より少しは良くなるが、ここ何十年間は昔の景気が良かったころの足元にも及ばない。
	都市型ホテル（企画担当）	・宴会、レストラン共に年末年始に向けた事前予約は好調である。選挙も終わり法人企業の動きはやや良くなっているものの、株価上昇傾向の反面、個人消費の動きは不透明であり、景況感の楽観はできない。
	旅行代理店（経営者）	・景気回復への良い材料はないが、各企業とも地道に努力しているため決して諦めることはない。
	旅行代理店（営業担当）	・年末年始の需要を期待したいところだが、先行予約の状況に大きな変化は見られない。
	通信会社（社員）	・緩やか販売の動きが継続する。
	通信会社（企画担当）	・格安スマートフォンや光卸が底堅く推移している点から、当面数か月以上この状況は変わらないか、年末に向けて更に良くなる可能性があり、下振れすることはない。
	通信会社（営業担当）	・浮揚する要素も悪化する要素も特にはない。
	通信会社（工事担当）	・客の話ではあまり設備投資ができない状況が続く。
	通信会社（総務担当）	・衆議院選挙も終了し経済の安定に期待が持てるものの、景気への影響はしばらく時間が必要である。
	テーマパーク（管理担当）	・地方の個人消費は相変わらず伸びず、活性化する要因が見いだせない。
	ゴルフ場（営業担当）	・ゴルフ場は今月から繁忙期に入るため、例年並みに予約状況が良い。
	美容室（経営者）	・客の所得が増えないと節約傾向は続き、売上が良くなることはない。
	設計事務所（経営者）	・地方は衰退の一途をたどる。
	設計事務所（経営者）	・全体的に新築件数が減ってリフォーム頼みであるため、今後景気が良くなることも悪くなることも言えない状況が続く。
	設計事務所（経営者）	・エンドユーザーの収入や中小企業の利益が向上していないので、建築のような大きな支出を控える状況が続く。
	百貨店（購買担当）	・高額商品が動き始め、婦人服でも高額品の動きが前月よりも良いので、気温が低下すれば客の財布のひもは緩み、売上も上がる。
	スーパー（営業システム担当）	・売上が前年を割る店舗が多く、この傾向は続く。
	衣料品専門店（経営者）	・地方では景気が上向かない。
	乗用車販売店（総務担当）	・年末に向けて忙しくなるのは確実であるが、販売台数を確保できるほど来客数が見込めない。広告宣伝やモーターショーで話題作りをしてニーズの掘り起こしを図りたいが、市場環境は厳しい。
	住関連専門店（営業担当）	・イベント時以外は客足が戻らず、景気は良くならない。
	その他専門店〔布地〕（経営者）	・大都市には人が集まるが、地方への人口流入は減少する。アベノミクスの恩恵は及ばず、企業誘致を考えないと地方は全滅してしまう。
	一般レストラン（外食事業担当）	・忘年会と新年会の需要が出てくるが、現状では宴会が減少している。また、大手チェーンの競合店も増え、早期予約の取り合いで例年より早めに告知が始まっているが、客の反応は鈍い。
	タクシー運転手	・天候不順でイベントが中止になるなど、客の動きは悪くなり現状のまま推移する。
	美容室（経営者）	・人の流れがなく売上が極端に悪くなるため、手立てを考える必要がある。
	美容室（経営者）	・人口減少やオーバーストアなど、不安要因が多々ある。
×	商店街（代表者）	・少子化、デフレ、インターネット販売、大型店舗の脅威と四重苦にあえぐ状況が続く。客の購入姿勢は非常に慎重であり、店の存続にも関わる事態となる。

	×	スーパー（店長）	・前年より競合店が増え、来客数が減少している。
		スーパー（販売担当）	・運送業者から運賃値上げ改定の要望が出されている状況に伴い、今後客にも配送料負担を頼まなければならない状況となるため、こうした点が消費の活性化に水を差すのではないかと危惧される。
	×	乗用車販売店（統括）	・大手鉄鋼メーカーの品質データ改ざん問題の影響を受けそうである。
	×	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・サービスエリア沿線の交通量が減少する。
	×	通信会社（広報担当）	・とにかく料金低下のみの要求が多く、新しく何かを導入するような資金的な余裕は見られない。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	・今後も新車の立ち上がりで忙しい状況が継続する。
		化学工業（経営者）	・特に自動車向け高機能樹脂の需要の増加に伴い、主要取引先も増産体制に入っており、受注も引き続き増加基調にある。
		鉄鋼業（総務担当）	・高炉からの供給がタイトな中で需要が上伸びつつあるため、需給が引き締まって鋼材市況も上昇する。
		鉄鋼業（総務担当）	・衆議院選挙での与党の勝利により現政権の継続が決定し、市場もそれを好感して株価上昇が続く。
		輸送業（経理担当）	・全体に受注量が増加しており、中でも鋼材関連の見通しが堅調で、今後も数量が増加する見込みになっている。
		通信業（営業企画担当）	・取引先の製造現場で大手鉄鋼メーカーの品質データ改ざん問題や自動車メーカーの不正検査問題からモノのインターネットへの関心が高まり、商談や問い合わせが増加する。
		広告代理店（営業担当）	・客が年末年始の販売促進を拡大するため、広告受注量が増加し、販売量も上向きに推移する。
		食料品製造業（経営者）	・商品の動向が変化する要素はなく、通常どおりの動きになる。
		食料品製造業（総務担当）	・価格改定と商品のリニューアルを行ったため、客の動向はまだ明確にはなっていないが、年末のお歳暮商戦から動向が明らかになる見込みであり、これからの数値に期待が持てる。
		化学工業（総務担当）	・第2四半期決算では販売量が増えたことで増益となったが、今後も右肩上がり伸び続ける見通しはない。燃料価格が上昇しており、販売数量の増加だけでは吸収しきれていない部門もあり、先行きが明るいとは言えない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・大型案件も生産対応中であり、通常品の生産も現在の水準が続く見込みである。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子部品関係の受注は引き続き旺盛ではあるが、高止まりとなる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きは変わらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・現行水準がおおよそ横ばいで推移する予測である。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客向け新製品の受注内示量は高止まりしている。
		建設業（総務担当）	・1年先に備えて物件に目途を付けるのが課題となる。
		建設業（総務担当）	・かなり回復基調にあり今後は横ばいとなる。
		輸送業（総務担当）	・客からの受注量に特段変化がない。
		通信業（営業担当）	・雇用拡大したいが人材不足であり、また、政府の消費税率引上げに向けた方針により消費の落ち込みを懸念することから、景気向上には期待できない。
		金融業（融資企画担当）	・地元大手自動車メーカーでは新型SUVの販売が輸出を中心に好調が続く。為替が円安傾向にあることも追い風となっており、当面は系列の地元自動車部品メーカーの受注は高水準を維持する。
	金融業（貸付担当）	・公共工事請負金額は前年比マイナスが続く。	
	不動産業（総務担当）	・例年同様年末にかけての来客数や成約件数は変わらない。	
	会計事務所（職員）	・与党が衆議院選挙で勝ったことにより建設業関連は公共事業への期待が膨らんでいるが、相変わらず人手不足の状態は解消されない。また、小売業も9月からの地元プロ野球チーム優勝セールでの上がり調子に期待を寄せていたが、クライマックスシリーズ敗退で活気はしぼみそうである。	
	木材木製品製造業（経理担当）	・4～6月の第1四半期の新設住宅着工戸数は、前年同月をわずかに上回っていた。しかし、7月から同年前月を下回ってきており、今後住宅業界では景気がやや悪くなる気配である。	

		金属製品製造業（総務担当）	・中国から輸入する原材料価格が上昇の見込みであるため、収益面に影響を与えそうである。製品への価格転嫁は難しく、厳しさが増していく。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・国内消費の動向が依然低迷しており、受注量も伸びてこない。
	x	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・来年度以降の物量、受注単価、コストの精査をすると、物量減、船価低迷に伴う値下げ圧力、原材料費高騰等により、一層収益性は低下する見込みである。
雇用 関連		-	-
(中国)		人材派遣会社（社員）	・引き続き人手不足が継続するため、企業側のニーズと求職者のニーズをいかに縮められるかが課題となる。
		人材派遣会社（支社長）	・採用に困っている企業から採用条件が緩和された求人が増加しているため、更にマッチングが進む。
		人材派遣会社（支店長）	・年末と年度末にかけての採用意欲が向上し転職者も増えるため、今後も景気は回復傾向が続く。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・定着、活躍課題、働き方改革への取組が増えてきており、生産性をいかに上げるかについて変化の兆しがある。
		職業安定所（雇用開発担当）	・窓口で聴取した企業からの情報ではマイナスの要素が見当たらず、人が足りないという声しか聴かれないため、景気はやや上向きである。
		民間職業紹介機関（職員）	・連日の株価上昇と円安傾向は地場の自動車関連輸出産業に好影響を与えており、人材の積極採用も盛んな状況が続く。
		人材派遣会社（経営企画担当）	・求職者不足は継続する見込みである一方、中国情勢や自動車メーカーの不正検査問題などによる日本企業への影響が懸念材料となる。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・来年度の新卒採用スケジュールは変化なしで確定している。現時点で前年度と比較し求人数と採用者数に大きな増減がない企業が多い。3月1日の解禁日より前にインターンシップや業界研究会などを通じていかに学生への広報活動ができていくかが、解禁日以降の成否を分ける鍵になる。
		職業安定所（所長）	・求職者の減少傾向から人手不足感が一層強まっていることを背景に、少しでも応募者を増やしたいと業種を問わず契約社員から正社員に切替え募集するケースが珍しくなくなる。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	・企業倒産の話はなく、有効求人倍率も落ち着いた状況が続く。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	・特に変化は見込めないが、衆議院選挙も終わったことから今後の政策次第となる。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・今後も求職者不足が続く。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・企業からの求人数に特に大きな変化が生じる材料は見当たらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・自動車メーカーの不正検査問題に伴い、県内に協力企業300社以上を抱えているため、その影響は今後の不安材料となる。また、県内の就労継続支援事業所の閉鎖で障害者200名以上が大量解雇された問題でも、今後の就労活動に影を落とす恐れがある。
	x	-	-